



潟上市章

かたがみ
Katagami

市議会だより

第29号



“涼”を感じさせる八坂の滝（鞍掛沼公園）

6月定例会

H24(2012)08.01

平成24年(2012年)
8月1日発行

- 6月定例会 …………… 2～3
一般会計補正予算等の内訳
- 臨時議会の動き …………… 4
- 委員会報告 …………… 5～7
- 一般質問 …………… 8～13
9氏が市の方針をただす
- 全国市議会議長会表彰 ……14
- 賛否一覧 …………… 14

— 2012年 —
6月定例会

6月12日～22日

平成24年度

**一般会計補正予算
特別会計補正予算**

**4億3,842万9千円
公営企業会計補正予算
を可決**

6月定例会は、6月12日から22日までの11日間にわたり開催されました。一般質問者は9名。審議された議案は、条例案5件、報告案件5件、人事案件3件、契約案件3件、議員発議1件、一般会計補正予算、特別会計補正予算を原案どおり可決しました。

報告案件

- 平成23年度
一般会計予算の繰越明許費繰越計算書
- 平成23年度
下水道事業特別会計予算の繰越明許費繰越計算書
- 平成23年度
水道事業会計予算の繰越計算書
- 平成23年度
水道事業会計予算の継続費繰越計算費
- 専決処分1件 広域入所保育

特別会計補正予算

国民健康保険特別会計補正予算	△ 89万4千円
介護保険事業特別会計補正予算	△ 948万7千円
農業集落排水特別会計補正予算	184万7千円
下水道事業特別会計補正予算	269万4千円

公営企業会計補正予算

水道事業会計補正予算

・収益的収入	2,365万4千円
・収益的支出	2,635万7千円
・資本的収入	1億9,330万5千円
・資本的支出	2,826万6千円

一般会計補正予算

4億3,842万9千円

●主な事業費●

総務費市役所庁舎整備事業費 新庁舎建設室の職員の人件費ほか	2,286万7千円
民生費福祉医療給付費 福祉医療費助成枠の拡大ほか	2,135万円
衛生費再生エネルギー等導入推進臨時対策基金事業費 太陽光発電システム等設置工事ほか	1億6,188万7千円
農林水産業費 農業生産力向上事業費補助金等 えだまめ日本一産地条件整備事業費補助金ほか	1,291万2千円

契約締結議案

工事請負契約	● 潟上市クリーンセンター基幹改良整備工事
	請負業者 日立造船(株)東北支社
	契約金額 10億1,430万円
	落札率 64.06%
備品購入契約	● 教育用コンピュータ等購入
	請負業者 エイデイケイ富士システム(株)
	契約金額 2,517万9千円
	落札率 97.30%

人事案件

- 教育委員
加藤 裕一氏 再任 (天王字二田)
- 人権擁護委員
吉田 良子氏 再任 (天王字上江川)
- 人権擁護委員
佐藤由美子氏 新任 (天王字追分)

発議

「議会基本条例策定特別委員会」を設置
25年3月までに策定

議会基本条例策定特別委員会の設置が発議されました。全会一致で可決された。委員7名で、策定がスタートしました。委員は次のとおり。

委員長	藤原 幸作
副委員長	堀井 克見
委員	中川 光博
委員	大谷 貞廣
委員	小林 悟
委員	岡田 曙
委員	佐々木 嘉一
オブザーバー	千田 正英

提出議案

原案可決

●条例制定及び改正

- 自治基本条例
- 農業集落排水事業における八郎湖の指定湖沼に伴う水質保全基金条例
- 印鑑条例等の一部を改正する条例
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部改正

臨時議会の動き

◆第4回

4月13日に開催。専決処分の承認、一般会計補正予算を可決しました。

【議案の内容】

●平成23年度一般会計補正予算（第11号）

特別交付税3億299万8,000円を追加し、財政調整基金に積み立てするもので、平成23年度末における財政調整基金の残高は、13億8,352万1,000円となります。

●潟上市税条例の一部を改正する条例

①市民税においては、公的年金等にかかわる所得以外の所得を有しなかったものについては、公的年金等支払報告書に寡婦控除対象者の記載があるため、改めて申告する必要があるため、改めて条文から削除するものです。

②固定資産税を「平成21年度から平成23年度」までとあるものを、「平成24年度から26年度」まで

改めて3年間延長する。

地方税の特例について、国が一律にこれまで定めていた内容を地方自治体が自主的に判断、条例として決定できるようにする仕組み、これは地域決定地方税の特例措置と言われているものです。

通称、わがまち特例と言われています。

●国民健康保険税条例の一部を改正する条例

東日本大震災にかかわる被災居住用地用財産の敷地に係る譲渡期限の特例を3年から7年に延長する。

●平成24年度一般会計補正予算（第1号）

公共関連施設等の被害総額については、2,700万円です。

委託料の主なものは、倒木の処理委託料102万4,000円です。

修繕料の主な内容としては、飯田川庁舎の車庫及び物置が227万4,000円、天王総合体育館ほか体育施設が412万8,000円、公園施設及び市営住宅が494万4,000円等です。

◆第5回

5月2日に開催。一般会計補正予算を可決しました。

【議案の内容】

●平成24年度一般会計補正予算（第2号）

災害復旧費9,800万円工事請負費は天王字下浜山の高潮による排水路漂流木撤去費用にかかわる工事費2,000万円です。

強風により被害を受けたパイプハウスの農業生産施設再生のため、市が費用の3分の1を補助、ビニールのみ被災にあつても市単独での助成を行う。災害復旧予算7,800万円です。

このほか種子の助成、パイプハウスの廃プラ処理費、漁業施設の被害にも県と共に3分の1協調助成を行うものです。



◆第6回

5月21日に開催。専決処分の報告、土地の取得についてを可決しました。

【議案の内容】

●市保育園を愛知県津島市が保育を実施する児童に使用させることに関する協議。

●土地の取得について

賛成11 反対8 可決
潟上市役所新庁舎建設用地として土地を取得するため議会の議決を求める。

場所は潟上市天王字棒沼台226番地1外11筆です。

面積は2万5,738.89㎡
取得予定価格は、7,719万2,569円です。

契約相手は医療法人正和会、有限会社サルース、国です。

今後は、秋田県立大学、秋田大学の協力を得ながら、プロポーザル審査委員会を立ち上げ、設計業者を選定して基本設計の作業を進めることとなります。

総務文教

市はどう答えたか

●一般会計補正予算(第3号)

職員人件費についての質疑

問 人事異動後、人件費の総額はいくらになったか。合併以来の定員適正化計画は進んでいるのか。また、正職員と非常勤職員の合計人数は何名か。非常勤職員の人件費の総額は。

答 4月1日現在正職員数は303名、非常勤職員数は469名で合計772名となっています。定員適正化計画に基づき10年間で49名の削減でスリム化を図っていきます。人件費の総額は21億4,700万6,000円で当初予算より1,737万円の増となっていますが、特別会計では減となっています。なお、非常勤職員の人件費総額は約5億円です。人件費、財政全般について合併後10年が経過すれば地方交付税の激変緩和が終了し厳しい財政運営が強いられる中で、中、

長期ビジョンが必要となります。

問 新庁舎建設室の場所、職員体制及び今後の建設スケジュールは。

答 新庁舎建設室の事務室は天王庁舎2階です。職員数は4名です。今後のスケジュールは、現在基本設計を進めていて、その後実施設計に取りかかります。また、現庁舎の利活用についても併せて進めます。

問 自治振興費の備品購入費について。

答 天王地区の出戸ブロックを複数自治組織として位置付けし、8集会所に備品を購入します。

問 羽城中、大豊小、飯田川小3校に太陽光発電システムを設置するが具体的な計画はどうなっているか。また、売電はできますか。

答 国のエネルギー施策で県補助金を活用し3校に非常時の電源を確保する為設

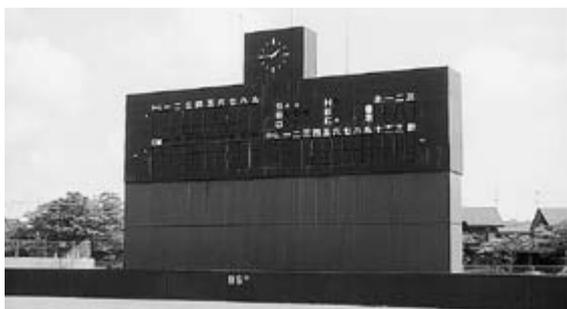


羽城中に太陽光発電

置するものです。災害時の必要最低限度の電気量を確保する目的で職員室の蛍光灯、FAX等が稼働できるレベルです。この事業で売電は認められていません。

問 長沼球場の改修工事費2億2,000万円のうちtoto(スポーツ振興くじ)の助成で1億円、市債で7,700万円、残り一般財源となっているが合併特例債の活用は出来なかったのか。また、スピードガンシステムを設置しない理由は。

答 合併特例債の第一次締切4月末までに間に合わなかったため今後二次申請をしたいと考えています。スピードガンシステムの設備費は約1,100万円で、toto助成の対象外です。スピードガン設置で児童生徒が競って無理な投球をする可能性もあり健康上問題があると判断しました。



長沼球場

社会厚生

市はどう答えたか

●国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国保税平等割の6,000円の税率の引き下げについての質疑

問 今回の税率改正で1,700万円の収入減になるが、なぜ今引き下げか。

答 今年度は介護保険料、後期高齢者医療の保険料が引き上げられています。市民の負担を軽減したいということです。

国保会計の収支状況を最優先に考える必要があります。



早朝検診

すが、社会経済情勢も考慮します。

単年度の推計では国保会計は1億4,000万円の不足が生じますが、繰越金を充当して税率を引き下げたものです。国保会計は国保で賄うのが原則ですが、共同事業拠出金算定誤りの返還金4,500万円もあり還元したいということです。

問 従来、インフルエンザ等の特別な医療費の支出も考慮して、基金を増やしていかなければならないということであったが、そのことも想定しての引き下げか。

答 潟上市の医療給付費は月2億円を超えています。24年度は1・01%の伸びを見込んでいますが、繰越金で充当します。特別な医療費の支出のときは基金を取り崩す方法もあります。

問 健全な国保会計維持のために収納対策が重要だ。滞納者対策は。

答 一つは督促、催告、訪問等を実施し収納率を上げ

ています。もう一つは資格証明書の発行によって収納率を上げる方法もとっています。最終的には差し押さえを行ないます。

問 収納率は下がっているが、医療費は増えてきている。景気動向やら複数の問題が潜んでいる。資格証明書を出さずだけでなく、人間的な健康保持ということも考慮しながらやっていく必要があるが。

答 健康を維持していくことが医療費の抑制につながっていきます。健康保持にも力を入れていきます。

●一般会計補正予算(第3号)

秋田大学への地域防災・減災に関する研究委託調査についての質疑

問 調査内容とスケジュールは。

答 県の津波に関する調査地点が少ないことから独自に調査します。12月にマグニチュード8・7を想定した県の津波浸水区域が発表

されますので並行して住民説明も行います。調査費は資機材や研究費です。年度末には全体調査についての報告会を実施します。25年度の地域防災計画の見直しに生かしていきます。

問 12月前までに他の市町村との連携した対策が重要だ。実務者レベルと首長レベルでの情報交換が必要だと思うが。

答 県が月1回防災担当課長会議を実施し対策等情報交換しており、この会議がその役目を果たしていると考えています。



東湖小への避難訓練

産業建設

市はどう答えたか

●農業集落排水事業における八郎湖の指定湖沼に伴う水質保全基金条例

農業集落排水事業の推進によって八郎湖の水質保全に資するため、県補助金を水質保全基金に積立て、八郎湖の水質保全事業や財源として発行した市債の償還に充てるための関係条例を制定することに対する質疑

問 県からの補助金は。

答 下水道に接続しない高度処理化に伴う下水道事業の償還に対して償還時市町村負担分の50%を一括して補助するものです。豊川処理場の分146万2千円と流域に流す場合は、処理場の衛生処理に対して、処理費用の県の上限額1カ所50万円が2カ所の100万円です。

問 この条例はいつ頃まで続くのか。

答 農業集落排水施設を流域下水道に接続替えしない限り続きます。



豊川地区排水処理センター

問 八郎湖周辺の市町村が一斉に制定するものなのか。

答 基金条例のないところは今回制定するものです。

●一般会計補正予算(第3号)

問 えだまめ日本一産地案件整備事業の内容、作付された場所と実績、作付け農家の戸数は。

答 事業費のうち県が3分の1、市が10%の嵩上げとなります。えだまめについては、JA湖東が力を入れており、昭和・飯田川地区で作付されています。23年度実績は関係農家戸数は20戸で、面積については昭和・飯田川地区が15・8ヘクタール、24年度は18ヘクタールを予定しています。



えだまめ講習会

問 青年就農給付金について、どのような営農者を対象としているのか。

答 青年就農給付金は1人150万円を5人分計上しており、45歳未満の若い農業者を育成するものです。対象は、20年度から営農を始めた方と都道府県の認められた研修を受けた方で、そのほかに年収が250万円以下であることや固定資産は本人名であることが条件となります。現在、5名の候補者がいます。

●水道事業会計補正予算(第1号)

問 JR横断水道管推進工事の内容は。

答 JR男鹿線の北野踏切で300ミリの耐震水道本管の布設工事です。工期は9月から12月までで、踏切を挟んで両側に立坑を設置して管を推進しますが、歩行者の通行を確保するためバリケード等で仮設の歩道を設置し、交通誘導員を配置し通行の安全を図ります。

母子保健事業の状況について



岡田 曙
議員

質問 母子健康手帳交付の際の説明は。
答弁 保健師が妊娠期から乳幼児期の重要な情報を記録していくための手帳の意義や役割を説明しています。

質問 24年度からの新様式の内容は。
答弁 妊娠、分娩のリスクに関する情報、健診の記録欄の拡充、胆道閉鎖症の早期発見のための項目等です。

質問 平成23年度の母子健康手帳



母子健康手帳

の交付件数は。
答弁 225件でした。

水の安全は

質問 地下水の安全性について。
答弁 地下水は土壌の影響を受けることから土地の埋立て等の規制に関する条例を制定し、地下水の状況に関する調査をした結果、環境基準に適合しています。

質問 地下水の安全性について。
答弁 地下水は土壌の影響を受けることから土地の埋立て等の規制に関する条例を制定し、地下水の状況に関する調査をした結果、環境基準に適合しています。

質問 上水道の普及について。
答弁 未普及地域解消事業として大崎地区、平成28年度まで、江川、二田地区を計画しています。

質問 上水道の進捗状況について。
答弁 平成23年度末の普及率は83・15%、平成28年度末には目標を92・2%としています。

検診受診率の向上に対する取り組みについて

質問 受診率向上のため取り組みについて。
答弁 「検診説明会」を実施し、市版のパンフレットを作成し全戸配布しています。

質問 早期検診の会場が変更になった理由は。
調整を実施し、今年度2基の屋外拡声子局を増設。今後も調査を継続します。

通学路の安全について

質問 市内小中学校への通学路の安全をどのように確認把握しているか。
答弁 各校の安全サポーター員が確認・点検を行い、安全教育、安全意识の啓発にも努めています。

質問 通学路にはみ出している個人宅の木などの伐採整理について。
答弁 所有者に連絡を取り適正な処理を指導しています。

質問 交通指導隊、警察との連携を通じて危険箇所の把握と安全確保に努めます。

低いところは運行廃止、代替交通を含めて検討します。デマンド方式の新システム導入は、非常に効率の悪い部分もあります。

ファミリーサポートセンターについて

質問 拠点センター設置について。
答弁 市内全域の方々が利用できるように天王保健センターに約30人の組織で形成、サポートにあたっては、設置については、今のところ考えていません。

生命を守る防災・減災について



菅原理恵子
議員

地域防災計画の見直しについて

質問 津波の避難場所及び経路は。

答弁 津波ハザードマップに掲載。災害の種類・状況により使用不可能な場合も想定されるので、



全市避難訓練（5月26日）

訓練等も実際の状況に即したものにします。
質問 地域の危険箇所の把握は。
答弁 土砂災害及び急傾斜地崩壊危険箇所については、年一回点検しています。

質問 避難所の防災機能の向上、非耐震構造物の改修計画と備蓄庫併設の計画は。

答弁 非耐震構造物の診断は行っていないですが、学校関係は行っています。他はこれから考慮していきます。備蓄は3箇所県防対策が出てから検討します。

緊急災害時の対応は

質問 防災無線の実態調査は。
答弁 昨年度にスピーカーや音量

質問 市長はTDK羽城の元社長の須田氏をご存じますか。
答弁 存じ上げません。

質問 須田氏は市長に面談し、跡地施設の利活用について、TDKは市に供与し、市が跡地を利用する企業希望者に対応していただければ、従業員の転職の斡旋も共有できお互い成果があるとの考えを提案したようですがお断りされたとのことでした。このことについてのお考えは。
答弁 今の質問で思い出しました。私が手伝えることがあったら何でもしますというようなことだったと思いますが、その後TDKから来ないしそのままにしています。

質問 TDKが撤退しても借地契

企業誘致・企業サポートについて



佐藤 義久
議員

質問 誘致企業「TDK羽城」の閉鎖後の対応について、市としてどのようなアクションを起こしたのか。協議の内容は。施設・用地関係の話はあったか。従業員の解雇や依願退職者の募集についての話。相談窓口の設置は。跡地利用についての市の考え方は。
答弁 工場の閉鎖が公表されてからTDK側からの要請もなく協議も行っていない。



閉鎖されるTDK羽城

約をしていけば、将来へのつながりもできます。新たな誘致企業があれば支援も必要になります。バックアップしていく考えはありますか。
答弁 そのような趣旨の質問であれば同感です。

上町の踏切新設計画の進捗は

質問 住民説明会で、反対があれば事業は遂行できないとの話があったようですが、住民の意見はどのように事業に反映されるのか。一方、宮の前に抜ける県道は狭隘で渋滞が予想されます。計画の進捗状況は。
答弁 住民説明会の中で山神町内からは馬踏踏切廃止による袋小路解消の要望が出されています。その他の意見と併せ、J.R.県と協議を進めています。県道との接続部については概略設計としての基本設計が出来上がった段階であり今後公安委員会や県と協議を重ねます。今後協議によつては内容の変更もありますので、ある程度方向が決まった時点で公表していきます。

国民健康保険証について



藤原 典男
議員

質問 健康で文化的な生活のため国民健康保険証は大切ですが、保険料を滞納すると健康保険証が発行されず病院での窓口負担が10割となり受診の抑制にもつながっている。早期に保険証発行への対策をとるべきと思うが。

答弁 保険料を納付できない事情がある方については、弁明書や特別の事情発生届出書を提出してもらおうよう対処しています。平成24年4月1日現在で231世帯に対し資格証明書、399世帯に対し短期証を発行しています。資格証明書の発行は納付相談及び指導に

一切応じない者とか所得・資産・生活状況等に関し十分な負担能力がある方で納付しない者が悪質という事で、発行しています。今回、国保の平等割を6,000円引き下げますが、保険料が高いということも通じるので健康生活も含めて医療費の抑制の取り組みと徴収率をいかに上げるか人事体制も含め進めていきます。

AED(自動体外除細動装置)の普及と取り扱い講習について

質問 心臓がスポーツ中に突然止まる病気で年間6万人の方が死亡しています。本市でのAEDの普及計画と心肺蘇生法・取り扱い講習の計画などは。

天王保健センターの機能はどのようになるか。
答弁 職員を本庁舎に配置しセンターは実施会場として使用する考えです。
「現庁舎等利活用報告書」にある昭和庁舎利活用案の一つであり、今後検討します。

質問 地域包括支援センター組織の在り方について。

答弁 介護支援事業の地域包括支援センターは、現段階では新庁舎に設置することを考えています。

質問 「災害に強いまちづくり」のために水道局、上下水道課の昭和庁舎利活用の検討の考えは。
答弁 本庁舎に事務を集約することにしており、震災など大災害時には、全庁の意思統一が図りやす

く、指揮命令も即時にできるものと考えています。貴重なご発言として、今後検討します。



昭和庁舎

各町内のゴミ集積所のあり方について

質問 各町内会のゴミ集積所のあり方がまちまちだが、市で指導していることは。

答弁 昨年度まで38施設に設置し、今年度は天王公民館他6ヶ所、スポーツ関係施設に2ヶ所予定しています。消防署の救急救命士を講師に、市の職員、各施設職員、各種団体への講習会を実施してきています。小・中学校の保健体育の授業の一環として救急救命に関する学習や中学校ではAEDを使用した実習も行っています。本市での講習会の開催は13回、298人です。今後自治会などとも連絡を取りながら進めていきます。



ゴミ集積所

点にし、その後公共施設についての実施を考えています。

公民館活動について

質問 公民館および分館活動の現状、公民館主事の設置、天王公民館の耐震、新築の将来事業計画は。
答弁 公民館は、心の豊かさや人間として生きる喜び、楽しさ、生

防災対策について

質問 地域自主防災組織の育成、公共施設の耐震診断の実施は。
答弁 自主防災組織は地域防犯のかなめと考えていますので、結成に向けて自治会の各種会議に出向いて促進します。
耐震診断は、当面学校施設を重

答弁 出品した農産物等の販売状況がわかるよう、毎日午前11時と午後3時に生産者にお知らせし、品不足になった場合再度出荷していたかどうかよう手配をさせていただきます。



食堂くらら

質問 さらなる地産地消推進の考えについて。
答弁 市としてより一層の複合経営の推進や地産地消の充実を図るべく農業生産力向上対策を平成22年度より実施しています。

成人用肺炎球菌ワクチン定期接種化について

質問 高齢者の肺炎による死亡率が急激に高くなっており、潟上市でも年間約36名の方が亡くなっていることから、成人用肺炎球菌ワクチン定期接種化と費用の助成の考えはないか。
答弁 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種は任意接種であり、国の動向等を見据え対応していくこととなります。

助成は今後の検討課題とさせていただきます。

新庁舎建設について



西村 武
議員

質問 合併特例債の活用期間である平成27年3月まで完成させるべきかと思ひ、次の5点について伺います。
1. 庁舎完成までの工程全般について。

答弁 基本設計業務の業者選定のため基本設計業務プロポーザル審査会を6月7日に開催し7月末まで契約業者を選定する予定で、基本設計の期間は4ヶ月を要すると想定し、11月末の完成見込みで実施設計に着手し、平成25年度に造成工事、建設工事に着手、平成26年度末の完成を目指します。

質問 2. 基本設計を行う際の方法について。
3. 設計業者の選定方法について。
4. プロポーザルによる場合の構想及び計画の審査について。
答弁 設計業者の選定方法は、創造性や技術力、問題解決に優れた協議可能な指名型プロポーザル方式で実施し、審査方法は提案評価基準に基づき評価を行い選定します。

地産地消の推進について

質問 食堂くららは地産地消への支援事業であり、地元生産者が特産品や食材を提供しているが、安定供給が図られているのか、次の3点について伺います。
1. 食材の安定供給への対応は万全か。

新庁舎建設後 の窓口対応は



藤原 幸作
議員

質問 新庁舎建設後の3地区窓口はどのような所掌事務を行うか。期間はどのようになるか。

答弁 本庁舎、追分出張所のほか

天王保健センターの機能はどのようになるか。

答弁 職員を本庁舎に配置しセンターは実施会場として使用する考えです。
「現庁舎等利活用報告書」にある昭和庁舎利活用案の一つであり、今後検討します。

質問 地域包括支援センター組織の在り方について。

答弁 介護支援事業の地域包括支援センターは、現段階では新庁舎に設置することを考えています。

質問 「災害に強いまちづくり」のために水道局、上下水道課の昭和庁舎利活用の検討の考えは。
答弁 本庁舎に事務を集約することにしており、震災など大災害時には、全庁の意思統一が図りやす

く、指揮命令も即時にできるものと考えています。貴重なご発言として、今後検討します。



昭和庁舎

各町内のゴミ集積所のあり方について

質問 各町内会のゴミ集積所のあり方がまちまちだが、市で指導していることは。

答弁 昨年度まで38施設に設置し、今年度は天王公民館他6ヶ所、スポーツ関係施設に2ヶ所予定しています。消防署の救急救命士を講師に、市の職員、各施設職員、各種団体への講習会を実施してきています。小・中学校の保健体育の授業の一環として救急救命に関する学習や中学校ではAEDを使用した実習も行っています。本市での講習会の開催は13回、298人です。今後自治会などとも連絡を取りながら進めていきます。



ゴミ集積所

点にし、その後公共施設についての実施を考えています。

公民館活動について

質問 公民館および分館活動の現状、公民館主事の設置、天王公民館の耐震、新築の将来事業計画は。
答弁 公民館は、心の豊かさや人間として生きる喜び、楽しさ、生

防災対策について

質問 地域自主防災組織の育成、公共施設の耐震診断の実施は。
答弁 自主防災組織は地域防犯のかなめと考えていますので、結成に向けて自治会の各種会議に出向いて促進します。
耐震診断は、当面学校施設を重

答弁 出品した農産物等の販売状況がわかるよう、毎日午前11時と午後3時に生産者にお知らせし、品不足になった場合再度出荷していたかどうかよう手配をさせていただきます。



食堂くらら

質問 さらなる地産地消推進の考えについて。
答弁 市としてより一層の複合経営の推進や地産地消の充実を図るべく農業生産力向上対策を平成22年度より実施しています。

成人用肺炎球菌ワクチン定期接種化について

質問 高齢者の肺炎による死亡率が急激に高くなっており、潟上市でも年間約36名の方が亡くなっていることから、成人用肺炎球菌ワクチン定期接種化と費用の助成の考えはないか。
答弁 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種は任意接種であり、国の動向等を見据え対応していくこととなります。

助成は今後の検討課題とさせていただきます。

排水機場の設置について



児玉 春雄
議員

集中豪雨及び大雨時に ける排水対策について

質問 昨今の社会現象は、地震災害をはじめ、予報を上回る暴風豪雨、大雨などにより容赦なく市民の安全、安心な生活が遮断され、そこに住む住民に大きな不安を与えている現状にあります。その最たるものとして、天王本郷地区における東湖町内会の排水対策は、まさに喫緊の課題です。船越水道に面した当町内会は、大雨の都度

に浸水し、また、道路も冠水のため通行不能に陥るなど、地域住民の暮らしは、容易ならざる事態となること



一向地区の浸水

が、これまでも幾度となくありましたが、住民の不安は大きく、交通や地域の生活基盤にも大きな支障をきたしております。恒常的な安全対策として排水機場の設置が肝要であるとの認識を強くしています。

質問 天王本郷地区の東湖町では、今年4月の爆弾低気圧の影響により高潮が発生し、宅地、道路などが浸水被害を受けました。浸水した原因は船越水道へ排水される排水口から海水が逆流したものです。幸いにも、地元消防団などの協力により人的被害はありませんでしたが、異常気象が続く昨今の状況下では、排水対策の充実を図ることは重要です。このような状況を踏まえ、市では海水の逆流防止対策として自動止水ゲートなどの整備を検討しています。船越水道に排水されている2カ所に自動止水ゲートを整備するためには、約2,200万円程度の事業費がかかりますが、市民の安全、安心を考えれば実施しなければなりません。抜本的解決を図るためには、排水ポンプを取り付け強制排水する必要がありますこと、補助事業等の該当がないか調査中です。

質問 やはり人間の命、これ以上大切なものではありません。雨が少し強く降れば心配で寝ていられない、こういった状況を解消してほしいという訴えです。是が非でも台風シーズン到来前までにお願したい、こういう強い信念です。今一度答弁をお願いします。

質問 スケジュール等については、議会の日程等も考えて、今すぐというわけには言えませんが、いづれにしても生命と財産に関わることですので、できる限り早くということを考えていきたいと思



佐々木嘉一
議員

新庁舎設計業務プロポーザル審査委員会等について

質問 新庁舎設計業務プロポーザルは、庁舎設計と周辺のまちづくりの基本計画の在り方を決める重要な事項である。市が提示した設計条件と新庁舎建設予定地を含む一帯の将来構想はどう考えているか。

点。さらには自然エネルギーの活用も考慮しています。プロポーザルでは、先の基本構想により、造成費用を含まない工事費28億円程度、延床面積7,500㎡程度、21台分の車庫、370台分の駐車場を設計条件として提示しました。当該地周辺の土地利用計画については、都計法第34条第11号により取り扱う方針です。

計が始まりますので、全体構想等の中で検討される事です。

員1名、市の方針を審議に反映させるため市関係職員2名としました。

新庁舎設計の 基本条件は

質問 プロポーザル方式により提案を求めるとしては、市は新庁舎建設計画と予め周辺の道路整備等環境条件、敷地内の土地利用計画をどのように提示したか。

質問 今回のプロポーザルでは、建設予定地内の利用の在り方についての提案を求めています。開発行為等による土地利用計画は、今回の提案により具体化されます。基本設計の完了により次に実施設

質問 市民参画を標榜する行政姿勢とは関係のない方法でプロポーザル審査委員会を設置し、しかも6人で構成された理由は何か。



新庁舎建設が予定されている天王棒沼台



大谷 貞廣
議員

質問 市の公共施設は化石燃料が主で、今後の価格見通しは高値安定と予想される。環境にやさしい自然エネルギー、無尽蔵にある地中熱の利用を県との協働プログラム対象事業として導入できないか。

質問 ブルーメッセに地中熱システムを導入できないか。



ブルーメッセ

質問 建設時に地域資源を活用するとの経緯から暖房は都市ガスを使用しています。県と市の現有施設の有効活用を核とした方策として、地域特産物の一大産地化を図り、新たな地域産業とすることで沿線の食と農業、観光の振興、地域のにぎわいを創出のテーマとした事業が可能か調査研究します。

質問 近年、ペット同伴が叫ばれている。ドッグランの施工は、位置づけられ、施設に対するニーズがあることは承知しています。特化した目的のための施設を新たに設けることは難しい状況です。施設のあるべき姿やどのような整備計画がよいか様々な課題について勉強をさせていただきたい。

再生可能エネルギーについて

質問 対象分野は、雇用の確保や地域経済の活性化、超高齢社会に対応した仕組みづくり、特色ある観光振興をはじめ地域産業の振興、新エネルギーの普及の5項目。ハード事業のみならず持続可能な地域づくりや重点的取り組みをし

6月定例会各議員の 賛否一覧(全会一致を除く)

会派名	議案等	
	氏名	消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める陳情
政友平成会	大谷 貞 廣	×
	児玉 春 雄	×
	佐藤 昇	×
	澤井 昭二郎	×
	藤原 幸 作	×
政 和 会	堀井 克 見	×
	岡田 曙	×
	西村 武	×
	藤原 幸 雄	×
潟上21改革 ク ラ ブ	鈴木 斌次郎	×
	小林 悟	×
	伊藤 栄 悦	×
	佐々木 嘉 一	×
潟上21振興 ク ラ ブ	戸田 俊 樹	×
	菅原 久 和	×
	中川 光 博	×
会派に 属さない	藤原 典 男	○
	菅原 理恵子	×
	佐藤 義 久	×
	千田 正 英	—
結 果		不採択

議会報告会を開催しました

議会報告会を市内6か所で開催しました。市民の皆様からいただいたご意見ご要望については市当局に報告し、この後その対応策等について市民の皆様にお知らせいたします。

<訂正>

第28号、11ページ小林悟議員の一般質問の答弁中「基準月額5,400円のうち900円」を「基準月額5,400円のうち90円」に訂正します。

6月定例会から一般質問で一問一答方式が取り入れられ、より議員の質問と市当局の答弁が責任あるものとなりました。また、市長、教育長に反問権も付与されました。共に議会改革の取り組みです。市政発展の前進の一步でしょう。まちづくりの基本的な考え方を定める潟上市の自治の最高規範「潟上市自治基本条例」が可決され、議会最終日には「議会基本条例策定特別委員会」が設置されました。市民と共にある市当局と議会であればなりません。まだまだ暑い日が続きます。節電にとめ熱中症にならないようご自愛を!!

(戸田記)

編集後記



全国市議会議長会表彰

6月定例会において、全国市議会議長会総会で永年勤続議員として表彰を受けられた4名に対し、本会議場で伝達が行われました。(町議会議員の勤続年数は2分の1加算です。)

永年勤続15年以上



千田 正英 議員

永年勤続10年以上



伊藤 栄悦 議員



戸田 俊樹 議員



菅原 久和 議員